

高円宮杯U-15 サッカーリーグ2017 徳島県リーグ【TJL】 実 施 要 項

- 1 目 的 本リーグは、徳島・四国・日本サッカーの将来を担うユース（U-15）の少年たちのサッカーの技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、(公財)日本サッカー協会に第3種登録した加盟チームすべてのチームが参加できる大会として実施する。
- 2 主 催 (一社) 徳島県サッカー協会
- 3 主 管 (一社) 徳島県サッカー協会 第3種委員会
- 4 運営組織
 - ① リーグ実行委員会
第3種委員長を議長とし、第3種リーグ責任者、第3種事務局、第3種規律・フェアプレー委員長及び、この会において認められた各Div.チーフにより構成する。
各Div.所属チームの確定や日程調整・運営方法、棄権チーム及び退場選手の処置等の重要事項を話し合いにより決定し実行する。
 - ② 各Div.チーフ
試合日程の決定ならびに試合会場や審判の割り当て、試合結果の報告、入替戦の運営等、責任をもって行う。
- 5 期 日

リーグ戦	前期：平成29年1月8日～平成29年3月12日 ※Div.1は3月31日まで 後期：平成29年5月20日～平成29年8月19日 (原則として、土日の連戦はさける)
入替戦	前期：平成29年3月18日・19日 後期：平成29年11月26日・12月3日・9日
- 6 会 場 原則として各Div.所属チームの会場で開催する。
- 7 参加資格
 - ① (公財)日本サッカー協会に加盟登録したチーム・選手であること。
 - ② 前期はU-14(中学校2年生以下)、後期はU-15(中学校3年生以下)の選手であること。
 - ③ (公財)日本サッカー協会により「クラブ申請」された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内のチーム間であれば移籍手続きを行うことなく、本リーグ戦に参加させることができる。なお、適応対象となるのは4種年代のみとする。
 - ④ 中学校体育連盟加盟チームは、その中学校に在籍し、かつ(公財)日本サッカー協会の女子加盟チーム登録選手を、移籍手続きを行うことなく、本リーグ戦に参加させることができる。
 - ⑤ 合同チームでの参加を認める。ただし、第3種委員会が定める編成条件及び、TJLの「競技規則補則」に従うこと。
 - ⑥ 同一チームからの複数チームの参加は可能である。
Bチームは、Aチームの直下のリーグまで昇格することができる。
- 8 競技方法
 - ① 参加チームを3つのDiv.に分け、それぞれ総当たりの2回戦制(前期1回戦/後期1回戦)で行う。 ※Div.1のみ通年制でおこなう。
Div.1 → 10チーム
Div.2 → 9チーム×2ブロック
Div.3 → 上記以外のチームで、4ブロックに分ける。
 - ② 試合時間：Div.1…前期・後期70分。Div.2・3…前期60分、後期70分とする。同点の場合は引き分けとする。
勝者チームに勝点3、引き分けチームに勝点1をそれぞれに与える。

- ③ 主審は各チームの持ち回りで各Div.チーフが決定し、副審については原則として対戦チームから出し合うこととする。(選手可。ただし、Div.1はコース審判資格者であること。)
- ④ 順位は、勝点、得失点差、総得点、当該チームの対戦成績、抽選により決定する。
- ⑤ 人数等都合により途中で対戦できないチームがあった場合は棄権とし、そのスコアは0対5として扱う。しかし、これにより得失点差等で順位に影響を及ぼす場合は、全記録から抹消して当該Div.の順位を決定する。そのチームは原則として自動降格とする。
- ⑥ 落雷時は20分間の中断の後に再開をする。再開不可能の場合は試合中止とし、後日に延期する。中止された試合は、後日その試合の残り時間を消化する。

9 競技規則

- ① 2016/2017年(公財)日本サッカー協会制定の競技規則による。
- ② 試合のたびに20名のメンバーを変更することができる。交代については最大9名まで認められ、一度退いた後も再び出場できる。
- ③ ベンチ入りできる人数は、役員5名以内及び選手9名までとする。
- ④ 主審により退場を命ぜられた選手は、次の1試合には出場できず、以後の処置については本大会のリーグ実行委員会で審議し、県協会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- ⑤ 警告の累積が3枚になった選手は、次の1試合に出場できない。

10 入替戦

- ① 前期・後期いずれも、その時のU-14(中学校2年生以下)の選手でおこなう。
- ② Div.1下位4チームとDiv.2各ブロック上位2チームの入替戦。
Div.2各ブロック下位4チームとDiv.3各ブロック上位2チームの入替戦。 ※Div.1は前期入替戦なし
- ③ 前期は30分ハーフとする。
後期の試合時間は、四国CL vs Div.1 ……40分ハーフ
Div.1 vs Div.2 ……35分ハーフ
Div.2 vs Div.3 ……30分ハーフ とする。
- ④ Div.1の優勝チームは、四国クローバーリーグへ自動昇格か、入替戦の可能性もある。詳細は「TJLから四国CLへの昇格の規定」を参照

11 表彰

Div.1…後期に優勝・準優勝・3位を表彰する。
Div.2・3…前期・後期それぞれで、各リーグ1・2位を表彰する。

12 エントリー

前期・後期のそれぞれ開幕日までに「選手登録 兼メンバー表」を、各Div.チーフにMail・Faxもしくは郵送すること。(参加申し込みになる)
※Mail・Faxの場合は、印の入ったものを後日、直接提出すること。

13 参加費用

7,000円(前期・後期ごと)

14 その他

- ① 試合前後や試合中の事故及び負傷等については、主催者側は一切責任を負わない。各チームにおいては万一の場合に備えて傷害保険に加入しておくこと。また、応急処置についても各チームにおいて対応すること。
- ② Div.1の上位8チーム、Div.2の各ブロック上位4チーム、Div.3の各ブロック上位2チームは、高円宮杯徳島県予選決勝トーナメントに出場することができる。ただし、Bチームは参加できないものとする。
- ③ 別紙の「競技規則補則」も参考とすること。

15 問い合わせ

(一社)徳島県サッカー協会 第3種リーグ【TJL】責任者 佐藤 篤史
住所 〒779-4702 三好郡東みよし町西庄字横手51番地
三加茂中学校内 電話：0883-82-2226 FAX：0883-82-3133

高円宮杯U-15 サッカーリーグ 徳島県リーグ〈TJL〉

競 技 規 則 補 則

1 複数チームの参加について

- ・ チーム名は自由につけることができる。
- ・ 1つの学校・クラブから3チーム出す場合、扱いについては【Aチーム・Bチーム①・Bチーム②】とする。
- ・ 【Bチーム②を出す場合の留意点】 Aチームの11人にプロテクトをかける。12番目以降の選手は、Bチーム①かBチーム②か、所属をはっきりさせる。よって、3チームにまたがって試合に出場することはできない。

※【AとB①に出場／AとB②に出場】…可 【B①とB②出場】…不可

2 プロテクト選手について（Bチームが出場している場合）

- ・ プロテクト選手は前期・後期の開幕時まで決定して、以降は変更しない。
- ・ Aチームの11名（予想先発メンバー）をプロテクト選手とする。
- ・ どのチームの「メンバー表」も、すべての選手が記載されたものにする。
A以外のチームには、プロテクト選手をマークすること。

3 合同及び合同解消・レンタルについて

- ・ 新規に合同チームを組んで出場する場合は、Div. 3からの参加となる。
- ・ 合同チームを解消して単独チームで出場する場合は、それぞれDiv. 3からの参加となる。
- ・ レンタルをおこなう場合も、Div. 3からの参加となる。

4 警告・退場について

- ・ TJLは累積警告3枚〈前期・後期を通して〉で、リーグ戦1試合の出場停止になる。
*後期からの参加チーム、または参加選手の場合は、累積警告2枚で出場停止。
- ・ 退場の場合は、原則として、リーグ戦の次の1試合は確実に出場停止である。そこからの出場停止数はリーグ実行委員会で審議し、県協会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- ・ 退場の場合、1試合以上の出場停止となるので、チームの監督はその選手の出場（ベンチ入りも）をひかえ、速やかにDiv.チーフに報告し、決定を待つこと。
- ・ 各会場責任者及び審判の方は、出されたカードをきちんと把握し、報告すること。
- ・ 警告者が出た試合の主審は「審判報告書①」を、退場者が出た試合の主審は「審判報告書②」を提出する必要がある。

※「審判報告書①」は「審判報告書②」に比べて簡易なものになります。

警告・退場が起こった時間・チーム・背番号・名前・登録番号などを確認し、

経緯・状況を明記してもらうこととなります。退場の場合はその後、リーグ実行委員会で審議し、県協会規律・フェアプレー委員会で決定します。
(選手の警告・退場の状況を継続的に把握するため)

5 棄権について

- ・試合時間にチームが来ない、競技者の人数が7人未満という場合は、棄権となる。
*棄権の取り扱いについては『実施要項』のとおりである。

6 入替戦について

- ・前期リーグ：1月～3月（3月入替戦） ※Div.1は前期の入替戦はおこなわない
- ・後期リーグ：5月～8月（11,12月入替戦）
対戦は【Div.1の7・8・9・10位の4チーム 対 Div.2A・Bの1位・2位の4チーム / Div.2A・Bの6・7・8・9位の8チーム 対 Div.3の1位・2位の8チーム】
- ・その組み合わせは、リーグ戦の勝ち点で決定する。
*ただし、リーグによって試合数が異なる場合は勝率で決定する。
勝率を出す時に、引き分けはカウントしない。
[例1]4勝2敗1分の場合：4/7=0.64… 4勝2敗2分けの場合：4/8=0.5 と算出する。
[例2]1勝5敗：1/6=0.16…と、1勝3敗3分け：1/7=0.14…のチームで比較する場合は、前者の方が上という扱いになる。
*勝率が並んだ場合は、引き分け数を加味して順位をつけることとする。
それでも並ぶ場合は、得失点差・ゴールアベレージをみることとする。
- ・入替戦に2チーム以上出場する場合、選手を複数のチームにまたがって登録することはできない。(メンバーを重複することなく分けておくこと)
- ・後期の試合時間は、四国CL vs Div.1 …40分ハーフ
Div.1 vs Div.2 …35分ハーフ
Div.2 vs Div.3 …30分ハーフ とする。

7 入替戦出場権について

- ・「自動昇格の権利・入替戦出場権の権利」は原則として放棄することはできない。
- ・やむを得ない場合は、すみやかにリーグ戦事務局に連絡をすること。
※上記のやむを得ない場合とは、「Bチームが、Aチームとの兼ね合いで入替戦に出場できない場合や、入替戦への出場権・自動昇格の権利があるチームが、次期リーグ戦に参加しない、登録選手が不足する場合」をさす。
△昇格の入替戦を辞退する場合→権利を同じリーグの3位まで譲ることができ、それ以降は上位Divにいるチームを、残留にする。
▼降格の入替戦を辞退する場合→そのチームは自動降格とする。そして下位Divにいる最も勝率のよいチームを、自動昇格にする。
- ・やむを得ない場合以外で入替戦の出場権・自動昇格の権利を辞退をした場合、次期はDiv.3からの参加とする。

※ただし、四国CLへの参加権については、移動距離もあり、金銭的な負担も大きい
ため、チームの事情を考えて辞退することができる。その権利は3位まで譲ることが
できる。

・『実施要項』の10 入替戦 の項目にあるように、

「 Div.1下位4チームとDiv.2各ブロック上位2チームの入替戦。

Div.2各ブロック下位4チームとDiv.3各ブロック上位2チームの入替戦。」

を基本とする。しかし、Div.2・Div.3で自動昇格が出た場合は、3位のチームまで入替戦に
出場することになる。また、Div.1の6位・Div.2の5位が入替戦にまわることは原則としてな
い。 ※例外…四国CLから複数チーム降格してくる場合

8 自動昇格について

- ・四国CLに徳島県リーグから自動昇格する場合や、Div.1・Div.2所属のチームが、次期
リーグ戦に参加しなくなり、チーム数が減少する場合、下位リーグでもそれぞれ自動
昇格するチームが出てくる。原則として下位リーグで一番勝率のよいチームがその権
利を得る。 ※逆に自動降格がある場合は、下位リーグでも自動降格になる。

9 Bチームの昇格について

- ・Bチームの昇格は可能。(Aチームの直下のリーグまで)
例:AがDiv.1ならBはDiv.2まで。Aが四国CLなら、BはDiv.1まで。
- ・ただし、Div.2にAチーム・Bチームの両方が、リーグを分けて所属することができる。
※Bチーム①・Bチーム②でも可である。

10 感染症等による試合延期について

- ・感染症等により、学校が学年閉鎖・学級閉鎖をしていて、試合をおこなうことが不可
可能な場合や、学校長もしくはクラブ責任者が試合をおこなうことを許可しない場合は、
試合を延期することができる。
- ・試合延期についての連絡は、試合の前日までに速やかにDiv.チーフと対戦相手におこ
なうこと。当日の試合延期の申し出は認められない。

11 その他

- ・試合毎に「メンバー表」(「選手登録用紙 兼メンバー表」に月日・会場・対戦相手・
登録・先発メンバーを記したものを)を提出すること。 ※毎回提出するように
※前期から後期にかけて、登録メンバーであったか否かによって、累積警告での出場
停止の条件が異なってきますので、チームの監督は責任をもって「メンバー表」提
出するように、ご協力をお願いします。
- ・高円宮杯徳島県予選決勝トーナメントの出場権をBチームが獲得した場合は、同じリ
ーグに所属の次点のチームに出場権を譲ることとなる。
- ・主審は必ず審判服を着用すること。ワッペンも付けておくこと。